

山本澄子, 他 著

ボディダイナミクス入門
「片麻痺者の歩行と短下肢装具」
[Win 版 3 次元動作分析 CD-ROM 付]

松崎哲治

(麻生リハビリテーション専門学校理学療法学科)

現在, 脳血管障害患者数は推定で約 140 万人といわれています。その内の多くの患者のニードの 1 つに「歩けるようになりたい」があることは言うまでもありません。このニードに対して歩行の獲得・自立などに取り組んでいくことも, われわれ理学療法士を中心としたリハビリテーションチームの大きな役割の 1 つです。

その脳血管障害患者の歩行について, 今般, 医歯薬出版より「ボディダイナミクス入門 片麻痺者の歩行と短下肢装具」が発刊されました。本書の執筆者である先生方は, これまで脳血管障害患者の装具研究・歩行はもちろん治療や動作分析研究などに深く関わってきた第一人者ばかりです。よって本書は, これまでの書籍には見られないほど脳血管障害患者の歩行を, 詳しくしかも解りやすく解説しています。

具体的には, 「片麻痺者の歩行」「短下肢装具を使用した歩行」の 2 部で構成されています。まず片麻痺者の歩行では, 患者の歩行・立位姿勢・重心・床反力・関節角度・関節モーメント・関節パワーなどについて, 健常者と比較しながら各歩行データの診方・解釈

などが詳しく解りやすく書かれています。次に短下肢装具を使用した歩行では, 短下肢装具の機能・装具なし歩行と装具歩行の違い・他装具との比較・装具の適合方法などが, これまた詳しく解りやすく書かれています。もちろん, これまでの「ボディダイナミクス入門」(立ち上がり動作の分析, 歩き始めと歩行の分析)同様, すべて CD-ROM に動画や歩行分析データが入っており, 目で見て学習できます。また, この CD-ROM は, パソコン初心者でも簡単に操作できるよう作られています。

本書は, まえがきに「1 人の方の動きのなかに片麻痺者の歩行に共通した多くの特徴を見つけることができました」と書いてあるように, 1 人の患者を詳しく分析し, 解りやすく説明(各データの示す意味などを詳しく解説)していますので, 片麻痺者の歩行の特徴が学習できるとともに, 目で診た分析への応用・データの解釈の仕方や解釈の再確認など, 幅広い応用が可能となる本だと思います。よって本書は, 動画等をもとに患者像のイメージがない学生, または, タイトルにもあるようにボディダイナミクス入門者の教科書になるとともに, これまで脳血管障害患者の歩行獲得や分析に関わってきた理学療法士等や歩行分析研究に関わってきた人達の知識の再確認および学習にも有用な 1 冊になるものと思います。

●B5 判 192 頁

定価 5,880 円(本体 5,600 円税 5%)

2005 年 医歯薬出版・刊